

.....

館園名 : 葛城市相撲館「けはや座」

(16年10月1日より合併により名称変更)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

- ・ 1990年05月01日

所在地

- ・ 〒639-0276 奈良県葛城市當麻 83-1

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 葛城市 (当時の富麻町)

運営主体

- ・ 葛城市

設立目的

- ・ 相撲の開祖「富麻蹴速」の顕彰。
- ・ 観光の拠点及び地域の活性化。

展示概要

- ・ 相撲に関する資料約1000点を常時展示。

活動概要

- ・ 相撲の普及活動。

延床面積

- ・ 976.77 m²

全職員数 (常勤職員)

- ・ 1名 (2005年01月現在) ただしアルバイトが1名

年間運営費

- ・ 円 (2003年度)

総資料点数

- ・ 約15,000点 (2005年01月現在) 資料整理中のため実数は不明

施設その他

- ・ 観光ボランティア詰所があり拠点となっております。

2. ボランティア活動 名称：葛城市観光ボランティアガイドの会

活動目的・経緯

- ・ 市内の観光案内。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 28名（2005年01月現在）
- ・ 男性：14名、女性：14名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：葛城市産業建設部農林商工課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（本庁 ）2名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ボランティア詰所（相撲館内）に待機し、観光客に案内。
- ・ 申込者に付いて観光コースを現地案内。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 類似団体及び他のボランティアガイドの会との交流。

関連する出版物

- ・ 特になし

関連するHP

- ・ <http://> 特になし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし。

活動個別シート 活動名：①観光ボランティアガイドの会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年04月01日

◇活動人数

- ・ 28名（2005年1月現在）

◇活動内容

- ・ ボランティア詰所（相撲館内）に待機し、観光客に案内。
- ・ 申込者に付いて観光コースを現地案内。

◇活動日

- ・ 毎月第1火曜及び毎週土・日及び祝日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 町より補助100,000円（年）新市移行後は未定）及び会員による会費。

◇運営（シフト 等）

- ・ ローテーション 月1の研修は原則として全員参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 不特定であり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市広報による募集選考は研修期間を設けて正式に入会。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 毎月第1火曜研修あり（講師を呼ぶ場合も数回あり）
他 主話等

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険を会費より出す。

◇評価

- ・ よくやっていたいている。

◇課題と展望

- ・ 新市移行により旧新庄町の研修が急務。

◇その他

- ・ 16年10月1日より旧富麻町と旧新庄町が合併、新市葛城市に移行しました。

.....

館園名 : 財団法人 水平社博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1998年05月01日

所在地

- ・ 〒639-2244 奈良県御所市柏原235番地の2

公式サイト

- ・ <http://www.mahoroba.ne.jp/~svihe>

設立主体

- ・ 財団法人 水平社博物館

運営主体

- ・ 財団法人 水平社博物館

設立目的

- ・ 全国水平社発祥の地ー奈良県御所市柏原で1986年より「地区改良事業」が着工されることとなり、貴重な資料の散逸が危惧されたことから、それらを収集・展示・公開するために水平社歴史館として開館。翌1999年に現名称に変更。

展示概要

- ・ 「雲間の曙光 対等・平等を求めて」
「かすかなる胎動 水和同志会の結成」
「若き力があつまるとき 全国水平社創立前夜」
「よき日よ君の手を 全国水平社の創立と広がり」
「全国水平社の活動家」
「奈良県水平社の活動家」
「全国水平社の支援者たち」
- ・ プロローグ
- ・ エピローグ
- ・ ビデオコーナー
- ・ ファンタビューシアター（創立大会）
- ・ 可変型展示コーナー
- ・ 特別展示室

活動概要

- ・ ①常設展・特別展。
- ・ ②広報、機関紙の発行。
- ・ ③賛助会活動。
- ・ ④『研究紀要』の発行。
- ・ ⑤展示ガイド。
- ・ ⑥水平社発祥地のフィールドワーク。
- ・ ⑦公開講座。

延床面積

- ・ 986.88㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 45,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 60,000点（2005年01月現在）

施設その他

- ・ 2003年1月 常設展をリニューアル

2. ボランティア活動 名称：ほっとねっと水平社博物館ガイドスタッフ

活動目的・経緯

- ・ 「人権の時代」をリードするために、2002年3月に設立されたNPO「ほっとねっと」が水平社博物館の展示ガイドとフィールドワークの案内を担当。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 30名（2005年01月現在）
- ・ 男性：20名、女性：10名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：事務局
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示ガイド。
- ・ フィールドワークの案内。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 30名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ 展示ガイド。
- ・ フィールドワークの案内。

◇活動日

- ・ 来館団体の申込による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ガイド料（ガイド200×人数、FW300×人数）の半額を支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ 水平社博物館の把握する予定に基づき、ほっとねっと事務局が人員を手配。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年1回程度 全体の交流会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、募集中。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 必要に応じて学習会を設定、主に館職員が講師にあたる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 来館者からの評価は高い。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

館園名 : 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1940年、大和国史館として開館。
- ・ 1974年、橿原考古学研究所の附属博物館となる。

所在地

- ・ 〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2

公式サイト

- ・ <http://www.kashikoken.jp/museum/>

設立主体

- ・ 奈良県

運営主体

- ・ 奈良県教育委員会

設立目的

- ・ 橿原考古学研究所の行ってきた発掘調査の出土資料を展示公開する。

展示概要

- ・ 橿原遺跡や藤ノ木古墳など、奈良県内で発掘調査された旧石器～中世の出土遺物約 5,000 点を展示。
- ・ 写真パネルや解説映像を取り入れ、幅広い年齢層に対応する展示解説を行う。

活動概要

- ・ 特別展、速報展、および講演会を実施。
- ・ 図録、目録を刊行。
- ・ ミュージアムショップでは、考古学関連のグッズや書籍を販売。

延床面積

- ・ 4,798 m²

全職員数

- ・ 7名（常勤のみ）

年間運営費

- ・ 140,000 千円（2003 年度）

総資料点数

- ・ 50,000 点以上

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ミュージアムトーク

活動目的・経緯

- ・ 来館者サービスを図るとともに、ボランティア自らの社会活動の参加を促す。
- ・ 1993年6月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 44名（1999年）
- ・ 男性：24名、女性：20名（1999年）
- ・ 平均年齢53歳：男性64歳、女性40歳（1999年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名 ・ その他（事務室）非常勤 1名

活動の種類

- ・ ①常設展の解説。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①常設展の解説

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 44 名 (1999 年)

◇活動内容

- ・ 常設展の解説（巡回案内と定時案内）を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動（休館日をのぞく）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 交通費・昼食代として、1,400,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 館が調整して当番を決める（なるべく色々な人と組むようにしている）。
- ・ 1 日 3～5 名が活動。
- ・ 月に 2～3 回の活動が目安。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 2 月頃に募集（県政広報紙に広告を出す）。
- ・ 資格：20～75 歳、県内在住。
- ・ 多数の場合は、抽選。
- ・ 任期 1 年（1 年の延長可）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 3 月上旬に 4 日程度の研修を行う（参加が必修）
- ・ 講師は当館職員が担当する。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費、食費を支給。
- ・ 保険に加入。
- ・ 図録の配布。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

.....

館園名 : 奈良県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1973年03月03日

所在地

- ・ 〒630-8213 奈良県奈良市登大路 10-6

公式サイト

- ・ <http://www.mahoroba.ne.jp/~museum/>

設立主体

- ・ 奈良県

運営主体

- ・ 奈良県

設立目的

- ・ 県民が内外の優秀な美術品を気軽に、かつ身近に鑑賞できることを願い、世界の名園奈良公演の入り口に建設。

展示概要

- ・ 奈良にゆかりのある作家の優秀作品の充実を目指している。考古的作品が多いため、近代に重点を置いている。

活動概要

- ・ 特別展、常設展、合わせて年に 6～7 回展覧会を開催。

延床面積

- ・ 5,451 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 11 名

年間運営費

- ・ 301,515,000 円（2004 年度）

総資料点数

- ・ 4,300 点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：奈良県立美術館解説ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 展示作品の案内・解説を通して、美術鑑賞の魅力を伝え、一緒に美術ファンの拡大と文化振興に取り組む。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 54名（2004年現在）
- ・ 男性：18名、女性：36名（2004年現在）
- ・ 平均年齢59歳：男性64歳、女性54歳（2004年現在）

ボランティア担当職員

- ・ 部局名称：総務係
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示解説・案内。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 資格：①県内在住在勤で、美術を愛好する18歳以上の人（高校生不可）。②美術館の指定する日に活動できる人。③研修を受けられる人。④ボランティア活動を支障なく行える健康状態の人。⑤2年間継続して活動可能な人。
- ・ 募集期間：2005年2月1日～28日。
- ・ 事前研修あり（3～4日間）。
- ・ 県の負担により保険に加入。
- ・ 交通費を支給（上限1,000円）。
- ・ 展覧会入場は無料。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート ①展示解説・案内。

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 54 名（2005 年 3 月現在）

◇活動内容

- ・ 館蔵品展の展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 館蔵品展を開催期間中の毎日（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 費用弁償、保険加入料として 432,000 円計上している（2004 年度）。
- ・ 個別のボランティア室があり、美術資料等は閲覧できる。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 2～3 名が観覧車の申し出により作品解説。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：①県内在住在勤で、美術を愛好する 18 歳以上の人（高校生不可）。②美術館の指定する日に活動できる人。③研修を受けられる人。④ボランティア活動を支障なく行える健康状態の人。⑤2 年間継続して活動可能な人。
- ・ 募集期間：2005 年 2 月 1 日～28 日。
- ・ 書類選考のうえ、応募者多数の場合は抽選を行う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員による養成講座）あり（3～4 日間）。
- ・ 館蔵品展ごとに担当学芸員による研修（3 時間程度）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 県の負担によるボランティア保険への加入。
- ・ 交通費を支給（上限 1,000 円）。展覧会入場は無料。

◇評価

- ・ 観覧者より、解説ボランティアは好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ 活動範囲の拡大（解説だけでなく、作品監視や企画への参加）。急な欠勤時の対応。

◇その他

・

.....

館園名 : 奈良県立万葉文化館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2001年09月15日

所在地

- ・ 〒634-0103 奈良県高市郡明日香村飛鳥10

公式サイト

- ・ <http://www.manyo.jp>

設立主体

- ・ 奈良県

運営主体

- ・ (財)奈良県万葉文化振興財団

設立目的

- ・ 「調査・研究」「展示」「図書・情報サービス」の3つの機能を備えた、万葉集を中心とした古代文化に関する総合文化拠点として開館。

展示概要

- ・ 日本画展示室：万葉歌をモチーフとした万葉日本画などを収蔵展示。
- ・ 一般展示室：人形や映像、音楽、ジオラマなどの手法で、万葉時代の暮らしや万葉歌人の個性・心情などが体感できる。
- ・ 特別展示室：国史跡飛鳥池工房遺跡の全体像を紹介。

活動概要

- ・ 企画展、特別展、各種イベント・フォーラム・講演会・講座を開催。
- ・ ミュージアムショップにて、館蔵品やロゴシンボルマークを素材にしたオリジナル商品、万葉・古代をテーマにした工芸品・書籍を販売。

延床面積

- ・ 11,090 m²

全職員数

- ・ 25人（非常勤5人を含む）

年間運営費

- ・ 400,000千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約330点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：奈良県立万葉文化館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 県民の自主的な社会参加活動を進めるため。
- ・ ボランティアは、活動を通して、「万葉集」を中心とした古代文化に対する関心と理解を深めるとともに、館の魅力を広く館外に知らせることにより、万葉文化の振興に寄与する。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 35名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：17名（2004年）
- ・ 平均年齢 58.2歳：男性 65.9歳、女性 50.1歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：財団法人奈良県万葉文化振興財団企画普及係
担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②事業への協力。

活動その他

- ・ 資格：①県内在住在勤で、万葉集を中心とした古代文化に関心のある18歳以上の人（高校生不可）。②財団の指定する日に活動できる人。③研修を受けられる人。④ボランティア活動を支障なく行える健康状態の人。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 展示解説、事業への協力

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 35名(2004年)

◇活動内容

- ・ 展示内容の解説・案内(日本画展示室を除く)。
- ・ 七夕祭等、館主催イベントの手伝い。

◇活動日

- ・ 月3日程度活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり。
- ・ ファイル・ペンなどの消耗品を支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ シフト等は、事務局で作成。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 年1回、交流の機会を設けている。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 12月～2月に募集。
- ・ 任期2年(更新可)。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修あり(1回、2日間)。
- ・ 事後研修(年1回、1日間)

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 財団の負担により、保険に加入。
- ・ 交通費を支給(上限2,000円)。

◇評価

- ・ 任期満了時に、記念品を贈る。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・